

2026年度

多摩美術大学

美術学部

学生募集要項

学校推薦型選抜

- 油画
- グラフィックデザイン
- プロダクトデザイン
- 建築・環境デザイン
- 芸術学
- 統合デザイン

入学試験に関する問い合わせ先

〒192-0394 東京都八王子市鎌水2-1723 多摩美術大学教務部入試課

問い合わせフォーム：<https://www.tamabi.ac.jp./contact/nyushi/>

受付時間 9：00～17：00（日曜・祝日・休暇期間中を除く）

目次

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	02
入試コンセプト	02
募集人員	03
出願資格	03
受験上の配慮について	04
出願期間	05
出願から合格発表までの流れ	05
出願書類	08
出願時における提出物（出願書類に同封して送付）	09
各学科専攻ごとの出願書類・送付方法	10
受験上の注意	11
学校推薦型選抜カレンダー	12
学科・専攻別試験内容／絵画学科油画専攻	13
学科・専攻別試験内容／グラフィックデザイン学科	15
学科・専攻別試験内容／生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻	17
学科・専攻別試験内容／建築・環境デザイン学科	19
学科・専攻別試験内容／芸術学科	21
学科・専攻別試験内容／統合デザイン学科	23
入学手続期限	25
学費	25
減免措置について	26
入学前プログラム	26
入学	26
おことわり	26
個人情報の取り扱いについて	26
入学試験会場	27
各種奨学金制度	27

出願用所定用紙

履歴書	29
志望理由書	30
自己アピール文	32
誓約書	33
推薦書	34
提出物作成自己証明書	35
在留資格証貼付用紙	37

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

人間が持つ創造性とは、未来を切り拓いていく力です。さまざまな表現のかたち、さまざまな生活のかたち、さまざまな社会のかたちを創造していく力です。

多摩美術大学は、大学の理念である「自由と意力」に共鳴し、自らの持つ創造性を、芸術を通して実現していかうと考えてくださる皆さんを、世界から幅広く、積極的に受け入れていきたいと考えています。

芸術に関心を持ち、芸術を志す人であればどなたでも、歓迎します。人間にとっての創造性とは、誰もが持ち、誰もが伸ばしていける力であると信じているからです。そうした皆さんとともに、人間の持つ未知なる力を開拓し、開花させていきたいと願っています。

多摩美術大学が育んでいきたいのは、なによりも、皆さんが潜在的に持っている表現者としての可能性です。それらは、三つの項目に集約されます。

「観察する力と思考する力」、「構想する力と実行する力」、「創造する力と表現する力」。

より具体的に述べれば、自らを批判的に反省し主体的かつ積極的な行動がとれること、公共性と協調性を学び責任感を持って課された仕事をやり遂げられること、異なった文化、他者とのコミュニケーションを学び、未来を創出できることです。

多摩美術大学は、皆さんが持つ表現者としての可能性をともに考え、その実現に協力し、強く支援することを約束します。

高等学校の教育課程を学んだ人、もしくはそれに準ずる資格を持った人であれば誰もが、多摩美術大学の入学試験を受験することができます。試験では、与えられた課題を解決するだけでなく、そこから新たな主題を発見できるかどうかを、多様な試験の方法を用いて評価します。その柱となるのは、基礎的なコミュニケーション力、創造的な表現力です。現在持っている表現の能力を計るものだけではなく、未来にひらかれた未知なる表現の可能性を求めます。

入試コンセプト

本学は、変化の度合いを速めつつある社会環境にあって、文化芸術のさまざまな分野、さまざまな局面で活躍しうるバイタリティーに富んだ多様な人材を育成することを重要なミッションとして掲げてきました。

入学者の選抜にあたっては、評価の尺度の多元性を重視していますが、本学が実施する学校推薦型選抜はその意図をさらに先へと進めるものです。

この入学試験にあっては当然ながら一律の能力ではなく、それぞれの分野で望まれる資質、そこで学ぶ積極的な意欲、将来への明確な姿勢などが総合的に問われることになります。

推薦要件

- ・志望する学科・専攻・コースの分野に強い関心と熱意を持ち、自発的かつ積極的に取り組む姿勢を有する者
- ・基礎的なコミュニケーション力、創造的な表現力を有する者
- ・学校長が人物・資質・学習意欲等を総合的に評価し、適格と判断した者
- ・合格した場合、必ず志願した学科・専攻・コースに入学することを確約できる者

募集人員

学科・専攻・コース	募集人員
絵画学科 油画専攻	10名
グラフィックデザイン学科	24名
生産デザイン学科 プロダクトデザイン専攻	20名
建築・環境デザイン学科	15名
芸術学科	5名
統合デザイン学科	12名

※学校推薦型選抜の合格者については、選考結果によって募集人員に満たない場合があります。

※上記以外の学科・専攻については、「総合型選抜」を行っています。

出願資格

次の「1」「2」すべてに該当する者。

1. 出願学科を専願し、強く学ぶことを希望する者で、本入学試験に合格した場合に入学を確約できる者。
2. 高等学校課程の出身学校長の推薦を受けることができる、次のいずれかに該当する者。

→ 絵画学科油画専攻、グラフィックデザイン学科

- ① 日本における高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を卒業した者または2026年3月に卒業見込の者。
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2026年3月31日までに修了する者またはこれに該当する見込の者。
- ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または2026年3月に修了見込の者。

→ 生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻、建築・環境デザイン学科、芸術学科、統合デザイン学科

- ① 日本における高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を2025年3月に卒業した者または2026年3月に卒業見込の者。
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2024年4月1日から2026年3月31日までに修了する者またはこれに該当する見込の者。
- ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）を2025年3月に修了した者または2026年3月に修了見込の者。

- ・ 学校推薦型選抜と帰国生選抜の出願資格を有する者はいずれかの入学試験のみ出願できる。

受験上の配慮について

身体機能に障がいがあるなど、受験上および修学上特別な配慮が必要な場合は、出願に先立ち、2025年10月6日（月）17:00までに必ず教務部入試課（問い合わせフォーム：<https://www.tamabi.ac.jp/contact/nyushi/>）まで問い合わせてください。学生生活に相当程度の困難が予想される場合は事前相談を行いますので、前記期日以前に問い合わせてください。入学試験直前に骨折するなど、緊急に受験上特別な配慮が必要となった場合についても、至急、上記問い合わせ先までご連絡ください。

なお、障がい学生支援については以下のURLにてご案内しています。本学入学試験にあたっては「障がいのある受験生の方へ」項目にある「障がいのある受験生への支援の流れ」をご確認ください。

<https://www.tamabi.ac.jp/campus-life/supports/disability-support/>

出願期間

- ・「WEB出願登録」、「入学検定料支払」……2025年11月1日(土)13:00から11月7日(金)18:00まで
- ・「出願書類の郵送」……2025年11月1日(土)から11月7日(金)消印有効

※海外から郵送の場合は11月7日(金) 必着

出願から合格発表までの流れ

- 出願する入試種別や専攻に間違いがないよう注意してください。
- 出願書類に不備・虚偽の記載があった場合は出願が認められません。また、入学取消しや退学となる場合があります。
- 検定料支払の完了後に出願を取り消す・変更することはできません。
- 一度受領した出願書類および検定料はいかなる理由においても返還しません。
- 出願を辞退する場合は、必ず入試課 (nyushi@tamabi.ac.jp) に連絡してください。

出願の手順



STEP 1…出願登録

WEB出願ページ (<https://www.tamabi.ac.jp/admissions/apply/>) にアクセスする。
「はじめて出願する方 WEB出願サイト」を選択する。



入試種別と専攻を選択

出願する入試種別や専攻に間違いがないように注意してください。



個人情報を入力、顔写真のアップロード

すべての項目を入力後、出願登録内容の確認画面が表示されますので登録内容に間違いがないか確認してください。

※出願登録を完了すると登録内容の変更や取り消しはできません。

※登録内容に誤りがある場合は検定料を支払う前に最初から出願登録をやり直してください。

《顔写真について》

画像はVGA (640×480pixel) サイズ以上でJPEG形式にしてください。画像に加工を施したものは認めません。出願写真として適切でないと判断された場合は、再提出になることがあります。期限内に再提出を行わない場合、出願を受理しません。



出願期間
2025 年
11月1日
～
11月7日

出願期間
2025 年
11月1日
～
11月7日

STEP 2…検定料の支払い

検定料（35,000円）の支払い

登録内容の確認後、検定料支払方法を選択してください。

コンビニ、金融機関ATM【Pay-easy】、クレジットカードいずれかの支払方法を選択してください。



クレジットカード	VISA、Mastercard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club
コンビニ	セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、デイリーヤマザキ、セイコーマート
金融機関ATM	Pay-easyが利用可能なATM

検定料の支払いには手数料990円が別途必要です。

※検定料の支払いが完了すると出願登録が確定されます。

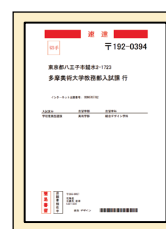
※検定料の支払い後に出願登録した入試種別や専攻の変更や取り消しはできません。

※出願期間内に検定料の支払いができなかった場合、出願は無効となります。

出願登録と検定料の支払いは出願期間最終日の18:00までに完了してください。

STEP 3…出願書類の郵送 & 提出

志願票と宛名ラベルをA4サイズで印刷して出願書類を大学へ送付する



- ・検定料支払後、マイページで志願票と宛名ラベルがダウンロードできるようになります。
- ・そのほかの出願書類や作品など提出物の提出方法はP.08～10を確認してください。

出願書類の郵送期限

日本国内から郵送	2025年11月1～7日（消印有効） 市販の角2サイズ封筒に宛名ラベルを貼付して志願票とそのほかの出願書類を同封して、簡易書留・速達で郵送してください。
日本国外から郵送	2025年11月1～7日（出願期間内に必着） DHL、FedEx、EMS等で志願票と宛名ラベルを同封して発送してください。 Address : Tama Art University Admissions Section 2-1723 Yarimizu, Hachioji, Tokyo, 192-0394 Japan

※出願内容に不備がある場合、出願登録した電話番号またはメールアドレスに連絡します。

※出願書類の到着や不備の有無を確認するためのお問い合わせには対応できません。

出 願 完 了

出願登録後～合格発表

受験票印刷
2025 年
11 月 14 日
13 : 00
↓

マイページにログインし受験票と試験当日に関する案内文を確認する



受験票は必ず印刷して持参してください。
試験場や集合時間などの詳細はマイページの案内文を確認してください。

入学試験日
2025 年
11 月 22 日
↓
11 月 23 日

受験票は必ず印刷して持参してください。
試験当日の実施情報は<https://www.tamabi.ac.jp/admissions/exam-info/>をご覧ください。
天候や公共交通機関の運行状況等により試験開始時間に変更がある場合はこちらでお知らせします。

合格発表
2025 年
12 月 1 日
13 : 00
↓
12 月 8 日

合否案内サービス (<https://www.gouhi.com/tamabi/>) にアクセスし受験番号、生年月日を入力して合否確認してください。期間外は見ることができません。
合格者には「合格通知書」を発送します。合格通知書をもって正式な合格とします。
電話やメールでの合否確認には一切応じません。

入学手続き
2025 年
12 月 1 日
↓
12 月 15 日

入学手続要項に従って入学手続きを行ってください。
なお、入学手続要項は合格者に対してのみ合格発表時に別途案内いたします。

出願書類

次の中で該当する全ての書類を表面に宛名ラベル（出願登録後に各自で印刷）を貼った封筒等で一括郵送してください。

送付についてはP10ページを参照してください。

〔注意〕志願者と出願書類等の姓または名が異なる場合は、同一人物であることを証明する書類（公的機関が発行）を提出してください。

提出書類		対 象	備 考
①志願票		全員	WEB出願のマイページから印刷してください。
②履歴書[P.29]		全員	所定用紙に直筆で記入してください。
③志望理由書[P.30]		・ 絵画学科油画専攻 ・ グラフィックデザイン学科 ・ 建築・環境デザイン学科 ・ 芸術学科 ・ 統合デザイン学科	所定用紙に直筆で記入してください。
④自己アピール文[P.32]		生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻	所定用紙に直筆で記入してください。
⑤誓約書[P.33]		全員	所定用紙に直筆で記入してください。
⑥推薦書[P.34]		全員	出身学校に記載を依頼し、厳封した状態で提出してください。 （開封無効）
⑦出願資格を証明する書類（出身学校の証明書等）	出身高等学校の調査書（1通）	・ 高等学校（中等教育学校含む）卒業（見込）者 ・ 高等専門学校3年修了（見込）者 ・ 文部科学大臣が認定した在外教育施設の当該課程を修了した者	・ 出願時より3ヶ月以内に発行されたもの。 ・ 出身学校長が作成したもの（開封無効） ※調査書の保管期間を経過した場合や廃校などにより調査書が提出できない場合は卒業証明書・成績証明書を提出してください。 ※成績証明書の提出が出来ない場合は出身学校にその旨の証明書を作成してもらい提出してください。
	修了（見込）証明書・成績証明書	外国における12年の教育課程修了（見込）者	・ 2025年4月以降に発行されたもの。 ・ 日本語または英語で記載されたもの。 その他の言語の場合は公的機関や日本語学校で認証を受けた日本語または英語の翻訳文を提出。 ・ 日本と外国の両方の高等学校に在籍したことがある場合は日本の高等学校在学中の調査書も提出してください。
	合格成績証明書	高等学校卒業程度認定試験（または大学入学資格検定）合格者	・ 合格見込者は合格見込成績証明書を提出。 ・ 合格証明書ではありません。
	合格証明書・成績証明書など	出願資格のうち文部科学大臣が指定した者	・ 提出書類は出願資格とともに事前に教務部入試課に確認してください。
	出願資格認定書（写）	本学において個別の入学資格審査により出願が認められた者	・ 申請期限までに出席資格審査を受けてください。
⑧提出物作成自己証明書[P.35～]		・ 絵画学科油画専攻 ・ 芸術学科	・ 提出物（出願時）や面接試験に提出・持参する作品等の内容を記載してください。 ・ 提出された作品等が自身の作成したものではないことが判明した場合には合格後であっても入学取消等の処分を受けることがあります。
⑨在留資格証貼付用紙[P.37]		外国籍の者（永住者または特別永住者を含む）	・ パスポートの顔写真ページのコピーを貼付してください。 【日本国内に在留の者】 ・ 在留カード（特別永住者は特別永住者証明書）の表裏両面のコピーを貼付してください。 ・ 裏面に何も記載がない場合でも必ず表裏両面のコピーを貼付してください。

出願時における提出物（出願書類に同封して送付）

- ・出願時における提出物には必ず本学所定の「提出物作成自己証明書（35ページ以降）」を出願書類に同封してください。
- ・面接試験時に提出・持参する作品がある学科・専攻はその情報も併せて記入してください（12ページ参照）。
- ・出願時における提出物は、事由のいかんを問わず返却しません。ただし、油画専攻のポートフォリオのみ返却します。
- ・オンラインポートフォリオ提出フォームの提出期限は、WEB出願の締切日時と同一です。
- ・送付方法は10ページを参照してください。

〔注意〕「出願時における提出物」の他に学科・専攻・コースによっては面接試験時に作品等を提出・持参する必要があります。

詳細は「学科・専攻別試験内容」（13～24ページ）の「試験科目・持参するもの」で確認してください。

学科・専攻・コース	提出物	備 考
絵画学科油画専攻	ポートフォリオ	- これまでに制作した作品の写真をまとめたもの。(A4サイズ1冊、ページ数自由、形式は任意) - 規定を超える作品や立体、映像作品があれば、その記録写真をポートフォリオに入れてください。
芸術学科	提出課題	課題：芸術について「空想の〇〇〇」の企画者として自由にプランを企画してください。 1. 表紙(A4縦1枚に横書き)に、「企画タイトル」、「氏名」を記入してください。 2. ①「企画タイトル」、②「意図」及び「内容」(合わせて2,000字程度)をA4縦数枚に横書きでまとめてください。 3. 課題の用紙下部にはページ番号をつけてください。 〈注意事項〉 ・課題の「〇〇〇」には、展覧会、書物、上映会など、企画者を必要とするものなら何を入れても構いません。 ・「意図」では誰に何を伝えたい企画か、「内容」では、期間、場所、構成プラン、作品などのイメージをなるべく具体的に書いてください(図を使っても構いません)。 ・プリントアウトでも手書きでも構いません。 ・上記の項目以外に必要な場合は、別に図版、映像などを添付しても構いません(紙の場合はA4サイズで、その他のメディアの場合はCDかDVD1枚またはUSBメモリ1点まで)。
統合デザイン学科	ポートフォリオ(PDF形式)	以下の様式にしたがって、各自でPDF形式によるポートフォリオを作成してください。
	表 紙	作 品 ペ ー ジ ※1
	2026年度 多摩美術大学 美術学部 学校推薦型選抜 統合デザイン学科 ポートフォリオ 出願番号 : ○○○○○○ 氏 名 : ○○ ○○	作品写真 ※2 タイトル _____ _____ 作品概要 _____ _____ _____ _____ 制作年 _____ メディア _____ 素材等 _____ _____ 作品の URL ※3 http://_____ _____
	ポートフォリオは、あなたの創造的な活動成果を示すものです。一般的なイメージでの「作品」に留まらない、活動成果があればそちらも是非含めてください。 ※1 作品は、1ページにつき1作品とし、5点以内で提出してください。 ※2 写真の枚数やレイアウトは、作品が伝わりやすいように工夫してください。 映像の場合やインタラクティブ 作品の場合には、スクリーンショットを並べてください。 ※3 作品が映像やインタラクティブ作品の場合には、作品をインターネット経由で確認できるURLを必ず記載してください。 〈提出方法〉 作成したPDF形式のポートフォリオが、インターネット経由で閲覧・ダウンロード可能なURLを下記提出フォームから提出すること。 URL提出フォーム：https://form.run/@51-integrated 〈注意事項〉 ・出願締切後にデータ修正・変更を行った場合、提出物として受け付けません。 ・ポートフォリオはデータでの提出を必須とします。紙、ファイル等での提出は認めません。	

各学科専攻ごとの出願書類・送付方法

学科・専攻・コース	出願書類								資料・事前課題・ポートフォリオ等	送付する封筒等	宛名ラベル (出願登録後に 各自で印刷)
	志願票	履歴書	志望理由書	自己アピール文	誓約書	推薦書	調査書	提出物作成 自己証明書			
絵画学科 油画専攻	○	○	○	—	○	○	○	○	+ ●ポートフォリオ →	任意の角2サイズ以上の封筒※	出願書類等を入れた封筒等表面に貼付
グラフィックデザイン学科	○	○	○	—	○	○	○	—	→		
生産デザイン学科 プロダクトデザイン専攻	○	○	—	○	○	○	○	—	→		
建築・環境デザイン学科	○	○	○	—	○	○	○	—	→		
芸術学科	○	○	○	—	○	○	○	○	+ ●課題 →		
統合デザイン学科	○	○	○	—	○	○	○	—	+ ●ポートフォリオ (PDF) URL提出フォーム https://form.run/@51-integrated		

※資料・事前課題・ポートフォリオ等を同封する際は、マチ付封筒やゆうパック・袋（小）等、頑丈な封筒を使用してください。

受験上の注意

1. 必ず試験開始30分前までに入構してください。
2. 試験場には、試験開始時刻より30分前から入場できます。また、試験前に注意事項の説明があります。
3. 試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。
4. 遅刻した場合は、いかなる理由であっても試験時間は延長しません。
5. 1科目でも試験を受けないと失格となり、以降の試験は受けられません。
6. 受験票を持参しないと試験場に入場できません。受験票を忘れた場合は係員に申し出てください。
7. 試験が午後にわたる場合は昼食を持参してください。キャンパス内では買うことができません。
また、キャンパス外に出ることはできません。
8. 実技試験の用紙等は大学で用意します。
9. 用具などの貸し借り、共用は認めません。
10. 持参用具の使い方は自由ですが、他の受験生に迷惑をかける恐れのある行為を禁じます。
11. 答案用紙の指定欄以外に本人の氏名や受験番号等を記載しないでください。
12. 各自の試験場および指定された場所以外には立ち入らないでください。
13. 試験場内には時計はありません。必要な方は各自持参してください。ただし、携帯電話やスマートウォッチおよび計算・辞書・通信・撮影・アラーム機能などがある時計の使用は禁止します。また、秒針音の大きな時計は使用できない場合があります。
14. 試験棟内および試験中は、通信機器（携帯電話・スマートフォン・PC・スマートウォッチ等）を使用することはできません。違反した場合は不正行為とみなし、ただちに退場を命じ、失格（不合格）とします。
15. 受験生以外は入構できません。
16. キャンパス内に自動車等車両の乗り入れはできません。
17. 感染症（学校保健安全法で出席の停止が定められているインフルエンザ、麻疹（はしか）、新型コロナウイルス感染症等）に罹患した場合、他の受験生や試験監督者等にひろがる恐れがありますので、原則として受験できません。
18. 天候や公共交通機関の乱れにより、試験の開始や終了の時刻、試験時間を調整することがあります。
19. 本要項に変更があった場合は、本学WEBサイトや試験当日に指示します。
20. 志願者数が多い場合は、11月24日（月）にも試験を実施します。その場合は本学WEBサイトにて事前に指示します。

学校推薦型選抜カレンダー

学科・専攻・コース	出願期間	出願時における提出物	試験会場	選 択	試験日			試験予備日	合格発表
					11/22(土)	11/23(日)	面接試験に提出・持参する作品	11/24(月)	
絵画学科 油画専攻	出願期間 11月1日(土)から11月7日(金)まで(消印有効)	ポートフォリオ	八王子キャンパス		作品提出・面接 時間は受験票印刷 開始日(07ページ参照)に 指示	作品提出・面接 時間は受験票印刷 開始日(07ページ参照)に 指示	作品	※志願者数が多い場合は11月24日(月)にも試験を実施する場合があります。 その場合は本学WEBサイトにて事前に指示します。	合格発表 12月1日(月)13時00分
グラフィックデザイン学科				クリエイティビティテスト (スケッチ+テキスト)9:30～11:30 鉛筆デッサン 12:30～17:30	色彩構成 10:00～16:00				
生産デザイン学科 プロダクトデザイン専攻		A		アイデア／プロセス 10:00～13:00	プレゼンテーション面接 時間は試験初日に指示				
		B		スケッチ／デッサン 10:00～13:00					
建築・環境デザイン学科		A		空間デザイン 10:00～16:00	プレゼンテーション面接 時間は試験初日に指示				
		B		企画デザイン 10:00～13:00					
芸術学科		課題			小論文(芸術学科専門試験) 10:00～11:30 面接 午後 (時間は小論文試験後に口頭で指示)				
統合デザイン学科	ポートフォリオ(PDF)	上野毛キャンパス	企画・構想 10:00～13:00	プレゼンテーション面接 時間は試験初日に指示					

学科・専攻の特色

油画専攻は、建学以来いつの時代もそれぞれのムーブメントの先頭に立って発言する作家たちを輩出してきました。とくに戦後の日本現代美術界における本専攻出身の「もの派」の作家たちの活躍は、今まさに世界から評価を受け注目されています。また、現在さまざまな美術コンクールや公募展が林立しているなかにおいても、多くの卒業生が優秀な成績を収め存在感を示しています。

われわれは今後とも、国際的視野をもち、絵画に基盤をおきながらも多様な表現メディアによって、日本の芸術文化に貢献する個性的な作家を育てることを目標としています。

入学試験では、本専攻の教育方針に賛同し、現代の芸術文化に貢献する意欲のある受験生を希望します。しかし、美術作家として有名になることだけが成功や評価に値することではありません。美術表現を探究することによって、自らの存在と社会との関係を自覚し、ひとりの人間として自立していくことがもっとも大切なことであり、そのうえで表現者としての第一歩が始まります。その土台を作ることも私たちの教育の大きな役割と考えています。今後、さらに高等学校や諸機関等との教育的連携を強め、造形的基礎訓練の継続性を大切にし、表現活動を続ける弾力性ある人材を育成していきたいと考えています。

選抜方針

学校推薦型選抜では、真摯な姿勢で美術と向き合い、豊かな感性と知性をもった個性あふれる人材の発掘をめざします。高等学校等の在籍中より積極的に作品制作に取り組み、現代の芸術表現をリードしていこうとする意欲をもち、また制作技能に秀でた人を求めます。展覧会などの発表歴や、美術コンクールなどにおける受賞歴も評価します。造形的基礎訓練を積み重ね、持続性をもって作品制作に取り組む態度は、未来をひらく自由でいきいきした創造を生み出すための基盤になります。

これらの資質や能力を「面接」と提出してもらう「作品」「ポートフォリオ」「書類」で、総合的に判断し選抜します。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

「美術」の授業だけでなく課外活動においても、自ら積極的に美術と出会い触れ合う機会をもつことを望みます。絵画制作能力を高めるためには、描写などの造形的基礎訓練のみならず日常的に絵を描く意識で身近なものを見ることが必要になります。美術館などで実際の作品に触れることや、絵画や彫刻などの美術史を学んで大きな美術の流れを理解しておくことも大切です。また、絵画制作において、例えば風景、植物、人体などを対象として制作する際、画像などを利用して描くのではなく、自身の肌で感じ、自身の目で見て制作するよう心がけてください。そのものの存在や自分との関係性を含め、大きな意味で世界の構造を捉えていくことが重要です。

また、展覧会などで作品を発表する機会があれば積極的に取り組むことも期待しています。それは、個人的な表現が周りの人とのコミュニケーションにつながっていることに気づく貴重な体験になります。

学科・専攻別試験内容／絵画学科油画専攻

入学試験日程・科目

日時	試験科目	時間
11月22日（土）または23日（日）	面接	時間は受験票印刷開始日に指示

試験科目・提出するもの

- 面接
- ①油彩2点以内（アクリル絵具使用可、2025年以降に制作されたもの、サイズ：50号以内）
 - ②ドローイングファイル1冊（デッサン、水彩等10枚以内にまとめたもの、ファイルサイズ：B2サイズ以内）
- ※規定サイズを超える作品は受け付けません。
- ※面接試験に提出・持参する作品等については、必ず本学所定の「提出物作成自己証明書（35ページ）」に記入し、出願書類に同封してください。

※規定を超える作品や立体、映像作品があれば、その記録写真をポートフォリオに入れてください。

提出作品（油彩・ドローイングファイル）の受付について

作品提出と面接は同日に行います。試験日は受験票印刷開始日に発表されますので、必ず確認してください。

本人持ち込みの場合

- ・提出作品の受付は11月22日（土）または23日（日）です。該当している試験日に受験してください。
- ・その場で本人が開梱し、提出してください。面接終了後、搬出となります。

運送業者委託の場合

- ・事前に研究室（042-679-5620）にご連絡ください。
- ・11月19日（水）、20日（木）[9：00～16：00] 必着で郵送してください。
- ・試験当日（22日または23日）に受験生本人が開梱し提出してください。

送付先 〒192-0394 東京都八王子市鍵水2-1723 油画研究室

- ・搬出を運送業者委託する場合は、油画研究室にて預かり、11月26日（水）集荷・発送を予定しています。（集荷依頼は受験生が行うこと）

集荷先等の搬出の詳細は、受験票印刷開始日（07ページ参照）に公開されますので、そちらで確認してください。

選考方法

下記科目等に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

『面接、作品、ポートフォリオ、書類』

採点基準

入学試験科目等	採点基準
面接・作品・ ポートフォリオ・書類	・提出作品に対する総合的評価 ・制作に対する意欲 ・コミュニケーション能力 ・展覧会発表歴あるいは受賞歴

学科・専攻の特色

建学80余年の歴史を受け継ぐグラフィックデザイン学科は、広告をはじめ、グラフィックデザイン、イラストレーション、アニメーションなど、ビジュアルコミュニケーションデザインの各分野において、日本を代表する数多くの人材を輩出してきました。

社会環境が刻々と変化する現在、ビジュアルコミュニケーションの領域は拡大し、デザイナーの役割も飛躍的に広がっています。だからこそ時代に対応する、独自性に満ちたデザイン教育が必要とされているのです。本学科では、“美術大学でデザインを学ぶ意味”をより強固な柱とした体系的カリキュラムを通して、豊かな造形力と明せきな発想力によって問題解決のできる次代のクリエイターを育成します。

選抜方針

学校推薦型選抜では、デザインに対して強い意欲を有し、創造性において真に秀でた能力と個性的な資質を有する人材を求めます。これまでの学科試験と実技試験のバランスが求められた一般選抜に対し、実技試験に特化した新しい判断基準を設けます。学校推薦型選抜は、実技試験「鉛筆デッサン」「色彩構成」(各5時間)、「クリエイティビティ テスト(スケッチ+テキスト)」(2時間)を行い、高い造形力、豊かな感性、柔軟な発想力、そしてデザインを学ぶ意欲といった、自己表現における総合力を判断し選抜します。

試験では、課題を造形化する発想力、「鉛筆デッサン」における描写力、「色彩構成」における色彩、形態、構成の造形力など、優れた資質と表現力を有しているかを評価します。「クリエイティビティ テスト(スケッチ+テキスト)」は、与えられたテーマを通して、スケッチとテキストを用いて自己表現するものです。描く・書くことでテーマに応えることを通じて、各自がもつデザインに対する意欲と知識、そして感覚と個性のアピールを評価します。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

高等学校等の授業で「美術」を学び、造形力を育むことがもちろん大切ですが、他の教科もすべてデザインと深い関係があります。デザインの造形面だけでなく、社会のなかで果たしている役割も考えながら学ぶことを心がけてください。

また、授業だけでなく課外活動においても、美術やデザインに触れる機会を積極的にもち、知見を深めることが望ましいです。テーマをもち、掘り下げた考察や創造など、真剣に取り組む経験が何よりも重要です。各自の深い興味、そこから得られた知識や感覚こそが、大学でデザインを学ぶ原動力となります。

学科・専攻別試験内容／グラフィックデザイン学科

入学試験日程・科目

日時	試験科目	時間
11月22日（土）	クリエイティビティ テスト （スケッチ+テキスト）※ 鉛筆デッサン	9:30～11:30 [2時間]
		12:30～17:30 [5時間]
11月23日（日）	色彩構成	10:00～16:00 [5時間]

※クリエイティビティ テスト（スケッチ+テキスト）：与えられたテーマに対してスケッチとテキストを用いて自己表現する

11月22日（土）の11:30～12:30、11月23日（日）の12:30～13:30は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

試験科目・持参するもの

- クリエイティビティ テスト**——水を使用しない黒の画材（鉛筆、マーカーペン、クレヨン、パステル、筆ペンなど）、消具、鉛筆削り、フィクサティブ（定着液）
※カルトン、パネルは不要です。
- 鉛筆デッサン**——鉛筆デッサン用具一式、フィクサティブ（定着液）、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）
※カルトン、パネルは不要です。
- 色彩構成**——水彩用具一式（ガッシュ、ポスターカラーなどの不透明水彩絵具に限る）、コンパス、三角定規、物差し、^{からすぐち}烏口、溝引き用ガラス棒、マスキングテープ、鉛筆、消具、鉛筆削り用ナイフ、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）
※カルトン、パネルは不要です。

選考方法

下記科目に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

『クリエイティビティ テスト（スケッチ+テキスト）』『鉛筆デッサン』『色彩構成』

採点基準

入学試験科目等	採点基準
クリエイティビティ テスト （スケッチ+テキスト）	・デザインへの強い興味と学ぶことへの意欲を有するか
鉛筆デッサン	・理解力＝問題の把握・理解が正しいか ・伝達力＝問題の目的や状況を正確に表現しているか ・発想力＝課題を造形化するアイデアに優れているか ・描写力＝構図、形、動き、光、量感などを描写することに必要な技術が優れているか ・個性＝デッサンからうかがえる品格、感性に優れているか
色彩構成	・理解力＝問題の把握・理解が正しいか ・発想力＝課題を造形化するアイデアに優れているか ・造形力＝アイデアを明快でムダのない色彩と構成によって、美しく整理できているか ・完成度＝手仕事としての仕上がりが優れているか ・個性＝品格、感性に優れているか

学科・専攻の特色

プロダクトデザイン専攻は長年にわたり、製品デザインの業界で国内に限らずグローバルに活躍し、けん引するデザイナーを数多く輩出しています。また、デザイン界のみならず、産業界でもネットワークを構築し活躍しています。プロダクトデザインの領域は今や製品の形や素材、色にとどまらず、人とモノとの関係が創り出す生活や、その生活を作る空間や社会などにも広がりを見せています。本専攻の教育プログラムもそれらの変化に対応し、ベーシックなスキルとなる“手”で考える美の追求から、多元的にモノゴトを見て考える力や、最新のコンピュータの活用、国際人としてのコミュニケーション力、プレゼンテーションメソッドなどのアクティブラーニングを活用し、未来を担う個性豊かなプロダクトデザイナーの育成を実現しています。

選抜方針

プロダクトデザイン専攻は、学校推薦型選抜をプレゼンテーション入学試験と位置づけ、受験生自らの創造を発表する場としています。選択Aの科目「アイデア／プロセス」は、文章でのアイデア説明に加えて、イラストや図式、漫画などを用いての紙面表現です。問題文を理解したうえでのアイデア発想力を採点基準とします。選択Bの科目「スケッチ／デッサン」は、デザインスケッチや鉛筆デッサン、カラー描写などによる紙面表現です。問題文に応じた描写内容と表現力を採点基準とします。ともに初日に実技を行い、2日目にはそれら作品のプレゼンテーションを行います。なお、合否判定に用いるのは、選択A、Bともに出願書類の「自己アピール文」「実技試験」「プレゼンテーション面接」です。受験生の自由かつオリジナリティあふれる発想力や表現力に期待する新しい入学試験方法です。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

授業での学習や課外活動・クラブ活動でのコミュニケーションスキルは、その後のプロダクトデザインの学びには大切な要素です。加えて次の3つを学習し、経験してください。1つ目は“自らの長所、特技に磨きをかけること”です。自己アピール文に記入できる自らの強みを作ってください。2つ目は“発表力”です。プレゼンテーション面接の際に、自らの作品の良さを力強く楽しく明るくプレゼンテーションしてください。3つ目は“人間力”です。そのモノを必要としている人の気持ちになり、思いやりのある提案を考えてください。そのためにも日常で気になることは放置せずに考察したり、問題解決のアイデアを考えたりしてください。

学科・専攻別試験内容／生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻

入学試験日程・科目（生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻は出願時にA Bいずれかを選択）

■選択A

日時	試験科目	時間
11月22日（土）	アイデア／プロセス ^{※1}	10:00～13:00 [3時間]
11月23日（日）	プレゼンテーション面接 ^{※2}	時間は試験初日に指示

※1 アイデア／プロセス：文章でのアイデア説明、他にイラスト・図式などを使った紙面表現

※2 プレゼンテーション面接：「アイデア／プロセス」で制作した作品を説明・アピールする

■選択B

日時	試験科目	時間
11月22日（土）	スケッチ／デッサン ^{※3}	10:00～13:00 [3時間]
11月23日（日）	プレゼンテーション面接 ^{※4}	時間は試験初日に指示

※3 スケッチ／デッサン：デザインスケッチ・鉛筆デッサン・カラー描写などによる紙面表現

※4 プレゼンテーション面接：「スケッチ／デッサン」で制作した作品を説明・アピールする

試験科目・持参するもの

■選択A

●アイデア／プロセス—鉛筆・シャープペンシル等筆記用具（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り、カラーサインペン、カラーマーカー、色鉛筆等（水を必要としない画材に限る）、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）

※カルトン、パネルは不要ですが、持参も可能です。

●プレゼンテーション面接

■選択B

●スケッチ／デッサン—鉛筆デッサン用具一式、フィクサティブ（定着液）、鉛筆削り、カラーサインペン、カラーマーカー、色鉛筆等（水を必要としない画材に限る）、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）

※カルトン、パネルは不要ですが、持参も可能です。

●プレゼンテーション面接

選考方法

下記科目等に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

■選択A	『書類』『アイデア／プロセス』『プレゼンテーション面接』
■選択B	『書類』『スケッチ／デッサン』『プレゼンテーション面接』

採点基準

■選択A

入学試験科目等	採点基準
書類	・総合学力＝次世代クリエイターとして必要な素質があるか ・アピール力＝自分の考えを持っているか／何かに秀でた能力があるか
アイデア／プロセス	・思考力＝現在や未来に適した発展的思考ができているか ・論理性＝思考プロセスが的確に説明できているか ・発想力＝発想に独自性や新規性があるか
プレゼンテーション面接	・発表力＝自らの作品意図を適切に伝えられるか ・人間力＝次世代クリエイターとしての素質があるか

■選択B

入学試験科目等	採点基準
書類	・アピール力＝自分の考えを持っているか／何かに秀でた能力があるか
スケッチ／デッサン	・表現力＝描写内容に即した表現ができているか ・理解力＝問題の把握・理解が適切にできているか ・構成力＝画面内に伝えるべき内容が構成されているか
プレゼンテーション面接	・発表力＝自らの作品意図を適切に伝えられるか ・人間力＝次世代クリエイターとしての素質があるか

学科・専攻の特色

建築・環境デザイン学科はArchitectureを学ぶ学科です。

「Architecture」は明治時代に「建築」と訳されました。しかしだんだんと狭義に解釈されるようになってしまい、インテリアもランドスケープも「建築」外となっています。原意はモノゴトの基本構造、設計思想をも網羅するハードからソフトを横断する分野を意味します。本学科は創設以来、インテリアデザイン、建築デザイン、ランドスケープデザインの3つの分野を横断して、身の回りすべての「環境」を対象としているため、「建築」に加え「環境」を冠した学科名としています。一方「環境」という言葉も、SDGs、気候変動、カーボンニュートラル等、により広義の意味を持ちつつあり、「建築」を冠することで「環境」を再定義したいと考えています。ここに「建築学科」ではないところに意味があると言えます。「Architecture」を学んだ暁には、国土交通省から国家資格である一級建築士の受験資格が得られ、アーキテクトとして幅広く活躍し社会に貢献できる人材を輩出しています。

選抜方針

建築・環境デザインは、「美術」「機能」「構造」の3つの柱で成り立つと言われています。それが美大で建築・環境デザインを学ぶ所以です。美術が得意な人だけではなく、数学や物理が得意な人、社会問題に対して関心の高い受験生も建築・環境デザイン学科への適性があると考えます。

選択A

「空間デザイン」では、与えられた条件を理解した上で立体構成された空間を、総合的に評価します。

「プレゼンテーション面接」では、空間デザインで制作した作品についてプレゼンテーションしてもらいます。

選択B

「企画デザイン」では、現在～近未来の社会をテーマとする出題に対して課題を創発し解決策を考え、様々な表現を用いて提案する力を総合的に評価します。

「プレゼンテーション面接」では、企画デザインの提案についてプレゼンテーションしてもらいます。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

東日本大震災や豪雨による被害等を背景に、建築・環境デザインの領域への志望者が増えていると感じます。私達の分野で出来ることは何か、社会に役に立つことはないのだろうか？そんな思いが伝わってきます。建築・環境デザイン学科では将来のアーキテクトを育成すべく、君たちを待っています。社会的責任を全うする覚悟を持ち、日々私達を取りまく森羅万象に関心を持ち、視覚と聴覚のみならず五感すべてを駆使して観察し、分析的に受け止める姿勢を身につけてください。さらに理系・文系という枠を超えて、建築・環境デザインと関連している様々な分野に関心を持ち、自分はどう思うのか、自分だったらどうするのか、いろいろな事象に対して自分の意見を持てるようになってください。将来のアーキテクトの卵として、積極的に多くの人と関わり様々な人の意見を聞き、グループをまとめるなど共同作業の経験をしておくことを望みます。

学科・専攻別試験内容／建築・環境デザイン学科

入学試験日程・科目（建築・環境デザイン学科は出願時にA Bいずれかを選択）

■選択A	日時	試験科目	時間
	11月22日（土）	空間デザイン※1	10:00～16:00 [5時間]
	11月23日（日）	プレゼンテーション面接※2	時間は試験初日に指示

※1 11月22日（土）の12:30～13:30は昼食休み時間。必ず昼食を用意してください。

※2 プレゼンテーション面接：「空間デザイン」で作成した作品を説明・アピールする

■選択B	日時	試験科目	時間
	11月22日（土）	企画デザイン	10:00～13:00 [3時間]
	11月23日（日）	プレゼンテーション面接*	時間は試験初日に指示

※プレゼンテーション面接：「企画デザイン」で作成した作品を説明・アピールする

試験科目・持参するもの

■選択A

- 空間デザイン——鉛筆（黒各種）、消具、ハサミ、カッターナイフ、粘着テープ（仮留め使用に限る。両面テープによる接着は不可）、直定規、コンパス、三角定規等
※接着剤は大学で用意します（持参品も可）。

●プレゼンテーション面接

■選択B

- 企画デザイン——鉛筆・シャープペンシル等の筆記用具（黒）、色鉛筆・カラーペン・カラーマーカー等の着彩用具（水を必要としない画材に限る）、消具、直定規・コンパス・三角定規等
- プレゼンテーション面接

選考方法

下記科目等に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

■選択A	『空間デザイン』『プレゼンテーション面接』
■選択B	『企画デザイン』『プレゼンテーション面接』

採点基準

■選択A

入学試験科目等	採点基準
空間デザイン	・理解力＝出題の意図と、問題の与条件を理解しているか ・想定力＝モチーフによる立体構成の意図が明確かどうか ・構成力＝想定に基づく立体構成が的確かどうか ・表現力＝立体構成の意図が用紙に表現できているか
プレゼンテーション面接	・論理性＝プレゼンテーションが論理的にまとめられているか ・客観性＝自らの作品を客観的に捉えられているか ・伝達力＝作品の意図を的確に伝えられるか ・対話力＝質疑に対する理解と返答が的確であるか

■選択B

入学試験科目等	採点基準
企画デザイン	・理解力＝出題の意図と問題の与条件を理解しているか ・課題発見力＝出題に対して発見された課題が的確であるか ・提案力＝課題の解決に向けた的確な提案ができているか ・表現力＝提案の意図を用紙に表現できているか
プレゼンテーション面接	・論理性＝プレゼンテーションが論理的にまとめられているか ・客観性＝自らの作品を客観的に捉えられているか ・伝達力＝作品の意図を的確に伝えられるか ・対話力＝質疑に対する理解と返答が的確であるか

学科・専攻の特色

芸術学科は、学芸員、編集者、美術史家、アートプロデューサー、研究者など美術・芸術を世界に発信する人材を育成する学科です。

「つくる」「考える」「伝える」をカリキュラムの骨子として、実技を通して表現技法や素材への関心や認識を深め、また、美術・デザイン史、芸術学などの講義により、美術や芸術の多種多様な表現がどのように考えられているかを理論的・実践的に学びます。さらに、展覧会や多様なメディアによる企画制作を通して、美術・芸術を社会に発信していくために必要なスキルを身につけます。

学科内に作品制作のためのスタジオや編集・出版のための編集室を設け、授業では、学生が記者、編集者、デザイナーとなって雑誌や書籍を発行したり、展覧会の企画制作と展示を実体験するなど、「美術大学ならではの芸術学科」として、思考力、企画力・コーディネート力、発信力を養っていきます。

卒業生は、美術館・博物館の学芸員、教員、文化施設のプロデューサー、出版社の編集者、ジャーナリスト、研究者から、美術家や映像制作に関わる者、また企業やイベントのプランナーにいたるまで、多方面で活躍しています。

選抜方針

学校推薦型選抜では、現代の芸術・文化をプロモート（企画・制作）しようとする熱意と使命感をもった人を求め、学力中心の一般選抜では評価しきれない「芸術・文化」の「企画」に関わる人に必要な資質と能力を見ます。

出願時に提出してもらう「課題」では、ある分野の企画者となって企画を立て、その意図や内容を具体的に文章や図面、そして図版などで表現することを求めます。この課題により芸術・文化の企画者として必要な能力を評価します。また「小論文」では文章表現力や思考力を、「面接」では芸術に対する考え方や将来の目的意識などを評価します。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

芸術を楽しむ感受する力が大切です。高等学校等での芸術の授業のみならず、自分の興味に応じて、美術、音楽、映画、演劇、文芸など、積極的に芸術や文化に触れ、自由で柔軟な発想力や思考力を身につけてほしいと思います。また、日本の文化だけでなく、洋の東西を問わず他地域の文化の多様性にも興味・関心をもってほしいと考えています。

学科・専攻別試験内容／芸術学科

入学試験日程・科目

日時	試験科目	時間
11月22日（土）	小論文〔芸術学科専門試験〕 面接	10:00～11:30 [90分] 午後（時間は試験日に口頭で指示）

必ず昼食を持参してください。

試験科目・持参するもの

●小論文〔芸術学科専門試験〕—鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り

※辞書の持ち込みは不可

●面接

選考方法

下記科目等に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

『課題』『小論文』『面接』

採点基準

入学試験科目等	採点基準
課題	・柔軟で自由な発想力 ・企画を構想しプロデュースする力 ・企画を文章として人に伝える表現力
小論文 〔芸術学科専門試験〕	・言語運用力＝日本語の読解と表現の能力が十分か ・思考力＝問題をどれだけ深く考察できているか ・読解力＝課題を正確に読み取れているか ・理解力＝確実な事実認識ができているか ・表現力＝客観的な文章にまとめる能力がすぐれているか ・独創性＝独自の発想や感性にすぐれているか
面接	・志望理由 ・芸術に対する考え方 ・芸術学科の特色を理解しているか ・学業への熱意 ・課題に関する質疑応答

学科・専攻の特色

統合デザイン学科は、グラフィック、プロダクト、インターフェースといった、これまでの領域の区分を取り払い、デザインの諸領域を横断的に学ぶための新たなデザイン教育の場です。この学びにより、デザインという美学をベースとし、調和のとれた社会を築く人材の育成を目指します。

身体の延長としてのものや空間、その集合体としての環境、そして、それぞれをつなぎ合わせる媒介としてのシステムとコミュニケーション、映像や身体インタラクション、それらが途切れることなく一貫性をもって統合されたデザインは、美しく、機能的であり、生活や社会、産業をより豊かな方向に導く原動力となっていくと考えています。

本学科では、生活の営みから社会や産業を構成するさまざまな「問題に気づき、その本質を思考する力」、個々の問題から「全体を見極め、多様な解決の可能性を発想する力」、発想を最も適切な方法で「具体化するための知識とスキル、実現する行動力」を身につけていきます。

選抜方針

学校推薦型選抜では、上記のような能力が発揮できる人材として、一般選抜と異なる視点から入学者選抜を行います。基礎的な造形力と共に、問題を発見し解決する能力と実現するための熱意や行動力をもつ人材を求めています。これら資質・能力を「企画・構想」「プレゼンテーション面接」「ポートフォリオ」から総合的に判断し選抜します。

「企画・構想」は、与えられたテーマに対し、効果的なアイデアと、それを具体化するための合理的な方法を提案という形でまとめることで、デザイン的な問題解決能力、発想力、思考力、具体化にむけてのイメージ力をはかります。

「プレゼンテーション面接」は、「企画・構想」の内容をプレゼンテーションすることで、言語化能力やコミュニケーション能力をはかります。

「ポートフォリオ」では、すでに取り組んでいる制作活動から、ものづくりへの熱意や実行力、デザインに対する意識、制作能力、造形力をはかります。

高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

学校推薦型選抜で評価される内容の多くは、積極的に、よりたくさんの作品をより深く突き詰めて制作することで身につきます。ただし、制作上のスキルアップだけではなく、制作を通して、日常の社会や生活にある問題に気づいたり、未知のことに対して考えたり、自分の考えや作品の意図を人に伝えたりといったトレーニングも行ってください。

また大学入学後は、デザインに関する知識や実技を統合的なデザインのカリキュラムによって学ぶことができますが、その学習効果をより高めるためにも、普段からデザインや美術へ積極的に関心をもったうえで、身の回りの物事の観察や分析を心がけておいてください。

学科・専攻別試験内容／統合デザイン学科

入学試験日程・科目

日時	試験科目	時間
11月22日（土）	企画・構想	10:00～13:00 [3時間]
11月23日（日）	プレゼンテーション面接	時間は試験初日に指示

試験科目・持参するもの

- 企画・構想——— 鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り
- プレゼンテーション面接

選考方法

下記科目に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

『ポートフォリオ、企画・構想、プレゼンテーション面接』

採点基準

入学試験科目等	採点基準
ポートフォリオ	・ 普段からの制作歴・経験 ・ ものづくりや活動に対する意識・意欲 ・ 制作物の内容・クオリティ
企画・構想	・ 出題された内容を、正確に読み解く読解力と理解力を有しているか ・ 出題に対して、時間内に問題を整理し、自分なりの解決案を導き出す問題解決能力を有しているか ・ 論理的な思考力を有しているか ・ 解答における提案内容や取り組む視点に、独自性を有しているか
プレゼンテーション面接	・ 本学科の内容・特色を理解し、入学志望理由が明確であるか ・ デザインに対する考え方・姿勢 ・ 自身の提案内容を、適切な語彙によって論理的に説明できるか ・ 観察力、思考力、発想力、言語化能力 ・ 質問の意図に対する理解力と返答の的確さ

入学手続期限

2025年12月15日（月）

期限までに学費などの納入金を振り込み、入学手続書類を郵送（消印有効）してください。

学費

2026年度学費は未定のため、2025年度学費を参考に掲載します。

単位（円）

学科・専攻	納入金 (入学時・9月分納可)			内 訳						
	入学時	9月	合計	学 費					諸 費 用	
				入学金 ※1	授業料	施設費	維持費	実習費	私用材料等一括 納入預り金 ※2	校友会費 ※3
絵画学科日本画専攻	1,196,500	847,500	2,044,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	48,000	89,000	30,000
絵画学科油画専攻	1,117,500	842,500	1,960,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	15,000	30,000
絵画学科版画専攻	1,164,000	842,500	2,006,500	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	61,500	30,000
彫刻学科	1,147,000	912,000	2,059,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	63,000	89,000	30,000
工芸学科	1,147,500	847,500	1,995,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	48,000	40,000	30,000
グラフィックデザイン学科	1,102,500	842,500	1,945,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000		30,000
生産デザイン学科 プロダクトデザイン専攻	1,162,500	842,500	2,005,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	60,000	30,000
生産デザイン学科 テキスタイルデザイン専攻	1,152,500	842,500	1,995,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	50,000	30,000
建築・環境デザイン学科	1,142,500	842,500	1,985,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	40,000	30,000
情報デザイン学科	1,102,500	842,500	1,945,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000		30,000
芸術学科	1,117,500	839,500	1,957,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	32,000	18,000	30,000
統合デザイン学科	1,122,500	842,500	1,965,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	20,000	30,000
演劇舞踊デザイン学科 演劇舞踊コース	1,152,500	842,500	1,995,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	50,000	30,000
演劇舞踊デザイン学科 劇場美術デザインコース	1,152,500	842,500	1,995,000	230,000	1,247,000	350,000	50,000	38,000	50,000	30,000

※1 入学時のみ

※2 学科・専攻・選択科目により、学費とは別に私的な材料・消耗品・工具・研修ゼミ等に充当する費用を徴収します。

※3 入学時のみ終身会費 30,000円（代理徴収）

次年度以降の学費：

在学中の学費は入学時の額による一定方式です。

減免措置について

災害により被害を受けた方を対象とした学費の減免措置を実施する場合があります。その際は本学WEBサイトに掲載します。

※上記対象以外で実施する場合も、本学WEBサイトにてお知らせします。

入学前プログラム

入学までの準備期間を有効に活用し、専門実技の意欲をより高めるためのプログラムです。これらは入学後の大学生活に対する不安や疑問を緩和することを目的にしています。内容は合格された方に合わせたプログラムになるため、合格発表後にお知らせします。

入学

絵画、彫刻、工芸、グラフィックデザイン、生産デザイン、建築・環境デザイン、情報デザイン、芸術学科は**八王子キャンパス**（東京都八王子市鎌水2-1723）に入学します。

統合デザイン、演劇舞踊デザイン学科は**上野毛キャンパス**（東京都世田谷区上野毛3-15-34）に入学します。

おことわり

1. 入学試験の解答について、所有権は本学に帰属し、解答の返却はしません。
2. 合格者の作品等を以下のように使用することがあります。
 - ・ 本学が発行する資料等に掲載
 - ・ 公に展示
 - ・ 本学のホームページに掲載

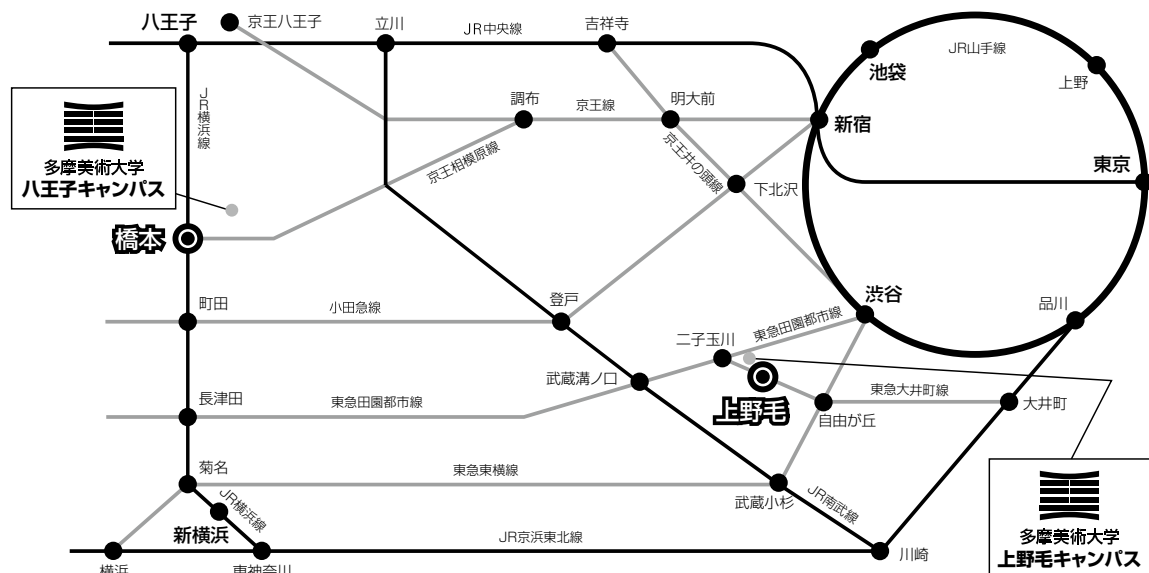
個人情報の取り扱いについて

本学では、2026年度入学試験時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれらに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な安全管理を行います。

個人情報の取り扱いについて不明な点等がありましたら入試課までお問い合わせください。

入学試験会場

- ・ 八王子キャンパス（東京都八王子市鍵水2-1723）実施
絵画学科油画専攻、グラフィックデザイン学科、生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻、
建築・環境デザイン学科、芸術学科
- ・ 上野毛キャンパス（東京都世田谷区上野毛3-15-34）実施
統合デザイン学科



●八王子キャンパス 橋本駅北口6番乗り場より神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」で約8分

入試期間中は橋本駅からの路線バスは随時増便・運行されます。バスの円滑な運行のために、あらかじめ小銭やICカード（Suica・PASMO等）を用意し、整列乗車にご協力ください。

●上野毛キャンパス 東急大井町線「上野毛駅」下車、環状8号線沿い（瀬田方面）に徒歩3分

バスダイヤ・乗り場は本学WEBサイトをご確認ください。

※八王子駅から路線バスやタクシーを利用する場合は、国道16号線の道路事情や降雪など不測の事態で遅れることがありますので、十分ご注意ください。

※入学試験期間中、キャンパス内に自動車等車両の乗り入れは一切できません。

路線バス運行・遺失物に関するお問合せ 神奈川中央交通(株) 多摩営業所 Tel.042-678-6550

京王バス南(株) 南大沢営業所 Tel.042-677-1616

各種奨学金制度

学生の就学支援のため、さまざまな奨学金制度を用意しています。本学独自の奨学金はすべて給付型となっています。奨学金制度の詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.tamabi.ac.jp/admissions/scholarships/>

学校推薦型選抜

出願用所定用紙

- ・ 出願用所定用紙は片面A4印刷（カラー推奨）で印刷すること。
- ・ 黒インクまたは黒ボールペンで記入してください。消せる筆記具（鉛筆、フリクションボールなど）で記入しないこと。
- ・ データによる提出はできません。必ず募集要項内の「出願書類」にしたがって郵送すること。

目次

履歴書	29
志望理由書	30
自己アピール文	32
誓約書	33
推薦書	34
提出物作成自己証明書※	35
在留資格証貼付用紙	37

※「提出物作成自己証明書」は出願する学科・専攻・コースによって提出の必要があります。

以下のとおり○が付された学科専攻を志望する場合、学科専攻ごとに（資料）（課題）（作品）について記入のうえ、出願書類に同封すること。受験番号は記入不要です。

学科・専攻・コース	提出物（出願時）	面接試験に提出・持参する作品等
絵画学科油画専攻	○	○
グラフィックデザイン学科	—	—
生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻	—	—
建築・環境デザイン学科	—	—
芸術学科	○	—
統合デザイン学科	○	—

履 歴 書

学校推薦型選抜

※大学記入欄

フリガナ			志望学科		専攻 コース	
氏名			プロダクトデザイン専攻、 建築・環境デザイン学科のみ ○を付ける		選択科目	A ・ B

●学 歴

中学校卒業以降を記入すること

西暦	年	月	学校 ・ 学部 ・ 学科名
			中学校卒業
			入学／卒業（見込）／その他（ ）
			入学／卒業（見込）／その他（ ）
			入学／卒業（見込）／その他（ ）
			入学／卒業（見込）／その他（ ）
			入学／卒業（見込）／その他（ ）
			入学／卒業（見込）／その他（ ）

●発表活動歴（高等学校等での活動実績）

西暦	年	月	内 容

●受賞・入選等

西暦	年	月	内 容

学校推薦型選抜

※大学記入欄

フリガナ						
氏名			志望学科		専攻 コース	

「志望理由」を記入欄に詳しく記入すること。

1/2

[illegible]

自己アピール文

学校推薦型選抜

※大学記入欄

フリガナ			志望学科 ・専攻	生産デザイン 学科	プロダクト デザイン 専攻
氏名					

■志望学科専攻：生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻

「自己アピール文」を自由に記入すること（500字以内）

25マス×20行（原稿用紙右に100単位で字数を付しています）

[illegible]

2025年 月

誓 約 書

多摩美術大学
学長 内藤 廣 殿

2026年度 多摩美術大学美術学部学校推薦型選抜出願において、出願学科を専願することを誓います。また、試験に合格し、手続きを経て入学許可を得た後も専願であることを遵守いたします。

志望学科・専攻

_____学科 _____専攻*
(※専攻名は絵画学科・生産デザイン学科のみ記入)

本人住所

氏名

⑩

出身校名

保証人氏名

⑩

(保証人は、父母等とします)

推 薦 書

多摩美術大学

学長 内藤 廣 殿

2025年 月 日

学校所在地

学校名

学校長名

記入責任者氏名

⑩

公印

下記の者は貴学の美術学部学校推薦型選抜の出願資格を満たす者と認め、責任をもって推薦いたします。

被推薦者氏名

志望学科・専攻名

学科

専攻※

(※専攻名は絵画学科・生産デザイン学科のみ記入)

推 薦 理 由 [任意で記載]

提出物作成自己証明書（出願時に提出）

学校推薦型選抜

フリガナ		
氏 名		
志望学科	絵画学科 油画 専攻	

※大学記入欄

資料・課題・作品内容

出願時 提出物	ポートフォリオ	
面接試験時 提出物 (事前提出)	① (2点以内)	提出作品 作品名：_____ 制作年月：____年 ____月 (サイズ：____縦____横____cm) (素材／技法：_____)
		提出作品 作品名：_____ 制作年月：____年 ____月 (サイズ：____縦____横____cm) (素材／技法：_____)
	② (1冊)	ドローイングファイル
作品搬入時、運送業務委託の有無 ※変更があった場合、研究室にご連絡ください。 有 ・ 無		作品搬出時、運送業務委託の有無 ※変更があった場合、研究室にご連絡ください。 有 ・ 無

証明欄

上記のポートフォリオ・油彩作品・ドローイングファイルは、
私が作成したものに相違ありません。
これが事実と異なる場合には入学取消等の処分を受けることに異議ありません。

2025年 ____月 ____日

氏 名 _____ (印)

注意：「提出物作成自己証明書」は出願書類に同封すること。

：ポートフォリオ、油彩作品（裏面等）、ドローイングファイルには「志望学科」「氏名」を記入すること。

：提出された作品等が、自身の作成したものではないことが判明した場合には、合格後であっても、入学取消等の処分を受けることがあります。

提出物作成自己証明書（出願時に提出）

学校推薦型選抜

フリガナ		
氏 名		
志望学科	芸術 学科	

※大学記入欄

資料・課題・作品内容

出願時 提出物	課 題 企画タイトル： _____
	課題以外に提出を希望する場合、いずれかを○で囲む（ 紙（A4）・CD・DVD・USBメモリ ）

証明欄

上記課題は、私が作成したものに相違ありません。
これが事実と異なる場合には入学取消等の処分を受けることに異議ありません。

2025年 月 日

氏 名



注意：「提出物作成自己証明書」は出願書類に同封すること。

：提出された作品等が、自身の作成したものではないことが判明した場合には、合格後であっても、入学取消等の処分を受けることがあります。

フリガナ			志望学科		専攻 コース	
氏名						

外国籍の者はパスポートの顔写真ページのコピーを切り取り、糊付けで貼付けること。

日本国内に在留している者（永住者または特別永住者を含む）は在留カードの両面コピーを切り取り、貼付けること。

●パスポート顔写真ページ

PASSPORT

この上に貼付けること

●在留カードまたは特別永住者証明書の両面コピー（日本国内に在留の外国籍の者のみ）

在留カード番号を記入すること。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

表 面

在留カード 番号 -----

この上に貼付けること

裏 面

この上に貼付けること

特に記載がなくても貼付けること